

福監第33562号
令和2年11月26日

福崎町長	尾崎吉晴	様
福崎町議会議長	北山孝彦	様
福崎町教育長	高橋渉	様
公営企業管理者	福永聡	様

福崎町監査委員 鳥岡照義

福崎町監査委員 河嶋重一郎

令和2年度上半期定期監査結果報告書

地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果を別紙のとおり報告します。

この監査の結果に基づき、措置を講じたものについては、同条第12項の規定により、報告してください。

令和2年度上半期定期監査報告書

第1. 監査対象期間

令和2年4月1日から令和2年9月30日まで

第2. 監査の実施日

令和2年11月12日、13日

第3. 監査の対象

一般会計・特別会計・基金・一時借入金
水道事業会計・工業用水道事業会計・下水道事業会計
工業団地造成事業会計

第4. 監査実施項目

- ・各会計上半期の予算執行状況について
- ・各会計歳入・歳出伝票の確認について
- ・公金の収納状況について
- ・貯金及び借入金の残高確認について
- ・工事進捗状況について（第三者による工事検査実施状況を含む）
- ・上半期の入札結果について（最低制限価格の算定式及び設定範囲に中央公共工事契約制度運用連絡協議会モデルを採用したもの）
- ・その他（令和元年度決算審査意見書中、審査の意見に係る取り組み状況について）

第5. 監査の着眼点

（1）共通事項

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が法令に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているか。

（2）重点項目

入札における最低制限価格の算定式及び設定範囲に中央公共工事契約制度運用連絡協議会モデルを採用して実施された入札の結果について、適切に整理、分析が実施されているか。

第6. 監査の方法

令和2年度上半期定期監査は、提出された各会計収支計算書、上半期収

入・支出状況、公金の収納状況、工事進捗状況及びその他の資料のうち、抽出した一部の資料を主な資料とし、担当職員から状況等を聴取して監査を行った。

第7. 監査の結果

福崎町監査基準に基づき監査した限りにおいて、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理は、おおむね適正かつ効率的に行われているものと認められた。一部改善及び検討を要する事項が見受けられたが、軽微なものについては監査の過程で指摘したので本報告では省略している。今後とも適正かつ効率な事務処理に努められたい。

第8. 意見

(1) 上半期の入札結果について

令和2年4月1日から入札における最低制限価格の算定式及び設定範囲に中央公共工事契約制度運用連絡協議会モデルを採用して入札を実施されているが、最低制限価格の算定および入札は適正に実施されているものと認められた。

しかしながら、最低制限価格の上昇に伴い失格者が増加している点、また、必要となる事業費が増大している点を鑑み、町におかれては、半期または年間を通しての入札結果を整理、分析及び評価のうえ、次年度以降の対応を検討されたい。